

# 特定非営利活動法人 A SEED JAPAN 2017 年度 会員総会

## 議 事 次 第

日時：2017年6月18日（日）  
14:00～16:30（13:40 開場予定）  
場所：場所：中央区立環境情報センター  
（東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京  
スクエアガーデン6階）

## 議 案

1. 議決事項 1－定款変更 …p.2
2. 議決事項 2－2016 年度活動報告 …p.3
3. 議決事項 3－2016 年度全体決算 …p.12
4. 討議事項 1－2017 年度活動計画 …p.19
5. 討議事項 2－2017 年度全体予算 …p.23
6. 報告事項 –2017 年度役員 …p.25



## はじめに（事務局長より）

初夏の候、皆様におかれましてはいつそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

ごみゼロナビゲーションが独立して3年。

人材も財源も激変する中、A SEED JAPAN という団体の中心にあるものは何か、これから何を目指していくのか、考えぬいた3年間でした。

法人化、アースデイ東京事務局の受託、組織基盤強化（なる）プロジェクトのスタート、フェア・ファイナンス・ガイドのローンチなど、新たな案件にも挑戦…  
当時の代表・理事のみなさんの努力、汗と涙は忘れません。本当にお疲れさまでした。

この間、様々な出会いと別れも繰り返しました。

去りゆく人、新しく仲間になった人、戻ってきてくれる人。それぞれの思う「ASJらしさ」をどう体現していくのか？考え続ける毎日でした。

正直「空回りばかり…」と思うことも多かったのですが(!)、実はそれが肥やしになって、少しずつ、「社会変革と人材輩出の両方をやるのがA SEED JAPAN だよな」というゆるやかな合意形成ができ、  
そのために人材と財源をどのように確保・投入していくかを  
理事会で議論できるようになってきた今日この頃だと感じています。

そのような中、昨年はA SEED JAPAN 設立25周年記念のA SEED DAY を開催することができました。それも、ASJ を支援していただいている皆様のお陰だと思っております。  
そのA SEED DAY をきっかけに、かねてより設立したかったOG・OB と現役メンバーがつながる場として「運営プラットフォーム」が発足。数名のOG・OB の方が、メンバーとして事務局運営やプロジェクトをサポートしてくださるようになりました。

フェア・ファイナンス・ガイドは最初のタームである3年間をクリアし、次のステップへ。その他に、エネルギー問題の解決を目指して再エネ推進と放射性廃棄物処分を主要なトピックとして取り組み始めた2017年度。ますます複雑化する社会問題に対して、「ASJらしい」活動を展開していく所存です。

国際キャンペーン時代、ごみゼロ時代を超え、「第三期A SEED JAPAN」創成期の3年間を乗り越えた今、2017年度はますます重要な1年になると考えております。  
ASJ を支えてくださっているすべての方に、心より感謝申し上げますとともに、  
今後とも、皆さまのご参加・応援をお願い申し上げます。

A SEED JAPAN 事務局長 西島香織

## 特定非営利活動法人 A SEED JAPAN 定款（案）

### 1. 定款変更の理由

(1) 東京都の指示並びに特定非営利活動法人法の改正(平成二八年六月七日法律第七〇号)に伴う修正

新	旧
<p>(総会の議事録)                      第29条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。                      (1) 日時及び場所                      (2) 正会員総数及び出席者数(書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあつては、その数を付記すること。)                      (3) 審議事項                      (4) 議事の経過の概要及び議決の結果                      (5) 議事録署名人の選任に関する事項                      2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2人が、記名押印又は署名しなければならない。                      3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的記録による同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があつたとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。                      (1) 総会の決議があつたものとみなされた事項の内容                      (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称                      (3) 総会の決議があつたものとみなされた日及び正会員総数                      (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名                      4 議事録は会員に対して書面若しくは電磁的方法により総会后30日以内に通知しなければならない。</p>	<p>(総会の議事録)                      第29条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。                      (1) 日時及び場所                      (2) 正会員総数及び出席者数(書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあつては、その数を付記すること。)                      (3) 審議事項                      (4) 議事の経過の概要及び議決の結果                      (5) 議事録署名人の選任に関する事項                      2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2人が、記名押印又は署名しなければならない。                      3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的記録による同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があつたとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。                      (1) 総会の決議があつたものとみなされた事項の内容                      (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称                      (3) 総会の決議があつたものとみなされた日                      (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名                      4 議事録は会員に対して書面若しくは電磁的方法により総会后30日以内に通知しなければならない。</p>
<p style="color: red; font-weight: bold;">※第29条3項3号の「総会の決議があつたものとみなされる日」の最後に「及び正会員総数」を追記。(東京都からの指示による修正。)</p>	
<p>(公告の方法)                      第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、<u>法第28条の2第1項に規定する貸借対照表に係る公告については、この法人のホームページに掲載して行う。</u></p>	<p>(公告の方法)                      第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。</p>
<p style="color: red; font-weight: bold;">※第53条に「ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表に係る公告については、この法人のホームページに掲載して行う。」という1文を追記。                      (特定非営利活動促進法の改正【平成二八年六月七日法律第七〇号】により平成30年10月1日より貸借対照表の公告が必要になったため、その公示方法を明記するために修正。なお現在でも、貸借対照表は毎年ホームページに掲載しています。)</p>	
<p>附則                      この定款は、平成27年10月6日から施行する。</p> <p>附則                      この定款は、平成29年4月10日から施行する。</p> <p>附則                      この定款は、平成 年 月 日から施行する。</p>	<p>附則                      この定款は、平成27年10月6日から施行する。</p> <p>附則                      この定款は、平成29年4月10日から施行する。</p>
<p style="color: red; font-weight: bold;">※東京都への定款変更申請後、都知事の認証を受けた日の日付を空欄に記入します。</p>	

## 2016年度SEED PLAN評価

チーム名	エコ貯金プロジェクト
担当理事/ リーダー名	田川道子
該当期	2016年4月～2017年3月末
チーム人数	6～7名

ABCD評価の目安	
A	目標以上の達成ができた
B	ほぼ目標通り達成できた
C	一部しか達成できなかった
D	達成とよぶにはほど遠い進捗状況である

## 【A : SEED PLAN】

項目	目標	具体的な指標	ABCD 評価	コメント
●長期目標	持続可能でフェアな社会づくりに貢献する金融システムを実現します。具体的には、Fair Finance Guide Japan（フェア・ファイナンス・ガイド・ジャパン）において日本の多数の金融機関が90%以上のスコアを獲得し、国内金融機関から環境・社会問題へのお金の流れがほぼ絶たれた状態を実現します。また、そのために、日本の金融経済教育の仕組みの中にFair Finance Guide Japanの考え方が導入されており、Fair Finance Guide Japanから金融機関へのメッセージが毎月100通以上くる状態を目指します。			
●短期目標 (1)	Fair Finance Guide Japanの運営団体（A SEED JAPAN、アジア太平洋資料センター、「環境・持続社会」研究センター）で協働しながら、Fair Finance Guide Japanのウェブサイト（ <a href="http://fairfinance.jp/">http://fairfinance.jp/</a> ）の認知を高めます。			指標目標は達成しなかったものの、消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(SSRC)等、他NGO団体等からの講演依頼があったり、ESG（環境・社会・ガバナンス）やインベストメントチェーンなど持続可能性に対する意識が高まりつつある金融機関においても、当団体の取り組みが認識されていたり、環境省からヒアリングがあったりと、着実に認知度は高まったと考える。今後も認知度を高めるため、継続的に発信していく。指標に対する達成度は以下の通り。
→短期目標 を達成する ための実行 手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3団体で協力し、銀行評価、ケース調査、広報（Facebook、プレゼン、セミナー）等を実施します。</li> <li>・A SEED JAPANにてFair Finance Guide Japanの考え方を広める教材を複数作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ウェブアクセス数（年間40,000）</li> <li>②Facebookページへの「いいね！」数（年間3,000増加、累計7,000）</li> <li>③銀行へのメッセージ数（年間500）</li> <li>④メディア掲載数（年間10件）</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ウェブアクセス数は約20,000</li> <li>②Facebookページへの「いいね！」数は約630件増</li> <li>③銀行へのメッセージ数は約170</li> <li>④メディア掲載は5件</li> </ul> <p>目標の数値への到達度は平均して約4割だった。</p> <p>【実施した活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブース出展…アースデイ東京2017、グローバルフェスタ</li> <li>・セミナー…気候変動セミナー（9月）、国際シンポジウム（12月）、遺伝子組み換え関連企業に関するセミナー（3月）</li> <li>・フェア・ファイナンス・スクール…10回</li> <li>・中高生向け冊子作製「私たちの預金が社会問題を引き起こす？」</li> </ul>

●短期目標 (2)	Fair Finance Guide Japanにおける各種キャンペーンを実行しながら、銀行との対話を深め、Fair Finance Guideにおける日本の銀行のスコアが改善されることを目指します。		3銀行がスコアを改善し、目標は達成した。指標に対しての達成度は以下の通り。
→短期目標を達成するための実行手段	同上	①対話を実施できた銀行数 (3銀行以上) ②スコアを改善した銀行 (2銀行以上) ③特に気候変動、兵器産業、食に関するスコアの改善 (3項目以上) ※これらのテーマは今年度のFair Finance Guide Japanにおけるケース調査対象となっている。	6銀行 (ゆうちょ銀行以外) と対話を実施 (会合や電話、メール等で)、3行がスコアを改善した。(りそな銀行、ゆうちょ銀行、農林中央金庫)。(※スコア配点基準の変更による点数の変化も含む。) 気候変動、兵器産業、食に関するスコアの改善 (3項目以上) は、1項目だった。 具体的には、以下の通り。 B ・りそな銀行が、大幅にスコア上昇。国連グローバル・コンパクトを投融資方針に採用した結果。 ・農林中央金庫のスコアが向上。同機関の農林水産環境格付制度の具体的な評価項目として「化学農業・化学肥料の使用削減」「持続型農林水産業への取組み (FSCやMSCの取得等)」等が明確化されたことによる。

【B : SEED PLAN 以外】

●想定外の成果・前進	
●想定外の障害・つまづいたこと	

## 2016年度SEED PLAN評価

チーム名 ひまごみらいプロジェクト  
 担当理事/  
 リーダー名 西島香織  
 該当時期 2016年4月～2017年3月末  
 チーム人数 8名

ABCD評価の目安	
A	目標以上の達成ができた
B	ほぼ目標通り達成できた
C	一部しか達成できなかった
D	達成とよぶにはほど遠い進捗状況である

### 【A : SEED PLAN】

項目	目標	具体的な指標	ABCD 評価	コメント
●長期目標	原子力発電所の通常運転および事故によって生じた放射性廃棄物の最終処分・管理方法について、公正で民主的な決め方を確立します。また、都市と地方の連帯によって、第一次産業と再生可能エネルギーを中心とした、自然と共生できる地域をつくります。			
●短期目標 (1)	核燃料サイクル計画が見直されるとともに、高レベル放射性廃棄物の処分計画に関して市民が基本的な問題を認知し、議論に参加できる状態を目指します。			議論を喚起するための戦略作りの1年目として、情報収集と勉強会の実施に努めた。
→短期目標 を達成する ための実行 手段	I 核燃料サイクル計画と放射性廃棄物問題についてわかりやすくまとめた冊子・Webページを作ります。	冊子・Webページを作成できたかどうか	C	ミーティングを開催しコンセプトメイクを行ったり、記事を作成したが、公開には至らなかった。
	II 科学的有望地（高レベル放射性廃棄物地層処分場に適した条件）を政府が発表するタイミングで、世論喚起と提言を行います。	①世論喚起：7月に若者向け報告会1回、科学的有望地に関する最終報告書が出されるタイミングで1回セミナーが開催できたかどうか  ②提言：関係省庁や事業主体、国会議員等への働きかけを行ったか	C	①世論喚起：7/9にツアー報告会を開催（参加者合計19名）、9/5にパブコメ勉強会を開催（参加者12名、うち青森県・北海道からSkype2名）。  ②提言：知識の習得と情報発信に専念したため、ASJとして独自に提言を行うには至らなかった。（政府は2016年度中に科学的有望地を公表しなかった）
●短期目標 (2)	福島第一原発事故由来の放射性廃棄物に関して、国が「処分方法に対する基準の見直し」、「適切な管理体制」、「そのための人員と予算の確保」を行う事を目指します。			今年度は、勉強会や環境省への働きかけ等はほぼできていない。他団体主催の院内集會に出席し、情報収集を行った。
→短期目標 を達成する ための実行 手段	他団体の活動からの情報収集と発信を定期的に行います。	ASJ主催イベントでの告知等	C	7/9のツアー報告会にて、現状報告を行った。
●短期目標 (3)	青森県六ヶ所村や福島県二本松市等の農家やまちづくりに係る若者への支援者・協力者を新たに50名増やします。			現場ツアーは2回行ったが、発信の機会は7月の1回のみとなった。12月においてはメンバーの育成にはつながったが、より発信の機会につなげたい。
→短期目標 を達成する ための実行 手段	青森県・福島県内の現場へ行く機会を、年2回企画し、現場の様子を市民へ発信します。		B	①ASJの主要メンバー参加延べ人数：(5月)6名、(12月)3名  ②ツアー訪問場所：(5月)青森県六ヶ所村核燃料サイクル関連施設、東北あしたの森、花とハーブの里、あさこはうす、大規模再生可能エネルギー施設、東和きぼうのたねカンパニー、沿岸部。(12月)田村の連笑庵・コラッセ福島、東和きぼうのたねカンパニー。  ③市民発信：7/9報告会（参加人数19名）、12/11結イレブンにてふるさとをテーマに開催（参加人数7名）。

●短期目標 (4)	福島県での「復興」における課題を整理し幅広い市民に伝え、復興支援団体の取組みが継続的に支援される状態を目指します。		結イレブンは年間計画を作成し、社会的なタイミングに適合した企画を打つことができた。また、継続的に支援をし続けていただける仕組みを検討することができた。
→短期目標を達成するための実行手段	結イレブンを毎月定期開催。社会的に注目を集める時事問題と福島とのつながりを見つめ直す企画として開催し、のべ300名の参加を目指します。	①イベント参加者数 ②イベント出展回数 ③連携団体数 ④Facebookいいね！数	A ①参加人数300人達成。 Facebook動画のライブ配信では毎回閲覧数300回程度。  ②4/23-4/24開催の「アースデイ東京2016」、10/16開催の「土と平和の祭典」、3/11のピースオンアースにて、福島県内のNPO等と出展。来場者数は延べ150人程度。  ③結イレブン共催団体(2団体)の他、4団体とつながった。 <主な連携団体> ・すずめの未来市、NPO法人元気になるろう福島 ・佐藤真紀さん/NPO法人ふくしま30年プロジェクト ・平井有太さん/『ピオクラシー』著者 ・菅野瑞穂さん/株式会社きぼうのたねカンパニー ・東山晴菜さん/NPO法人福島県有機農業ネットワーク ※その他、結イレブン基金を設立し、継続的に支援・協力のできるコミュニティの仕組みを創設。  ④Facebookグループは2年間で約200名増加。

### 【B : SEED PLAN 以外】

●想定外の成果・前進	①福島復興を目指す「結イレブン」と長期にわたる核廃棄物問題の解決を目指す「核ごみ問題をフェアに！」の2つのプロジェクトを基本にチームを運営する方針が定まった。 ②パタゴニア環境助成金(150万円)、アクト・ビヨンド・トラスト助成金(50万円)に申請し、内定をいただいた。
●想定外の障害・つまづいたこと	①青森県六ヶ所村のまちづくり拠点となるNPOの活動休止 ②若者の巻き込み、広報戦略 ③コアメンバーの減少

## 2016年度SEED PLAN評価

チーム名	エネルギーとまちづくり プロジェクト
担当理事/ リーダー名	浜田恒太郎
該当時期	2016年4月～2017年3月末
チーム人数	2名

A	目標以上の達成ができた
B	ほぼ目標通り達成できた
C	一部しか達成できなかった
D	達成とよぶにはほど遠い進捗状況である

### 【A : SEED PLAN】

項目	目標	具体的な指標	ABCD 評価	コメント
●長期目標	化石燃料由来のエネルギー等の利用について改めて見直し、再生可能なエネルギーを誰でも選択し、利用できる持続可能な社会を目指します。そして、市民として、身近な市区町村単位での小規模な地域コミュニティの自治に関わるきっかけが見えやすい、参加型社会を創っていきます。			
●短期目標 (1)	2016年4月から小売電力自由化が開始された中で、市民として電力を選ぶとはどのような意味を持つのか改めて見直し、日本における地域での自治という視点から、話し合う機会を持つことを通して、自分に関わりのある自治体へ声をあげる市民を増やします。			
→短期目標 を達成する ための実行 手段	エネルギー自治、電力の選択、発電と節電、エネルギー安全保障、エネルギーと生物多様性、再生可能エネルギーなどさまざまな関わりのあるテーマ、切り口から学ぶ勉強会（スクール）を実施します。	①勉強会回数 ②参加者数	C	3/17にセミナーを開催。内容は、2016年4月の小売電力自由化から1年が経つ中で、気候変動・電力・原子力というエネルギー問題を取り巻く3つの視点を概観した上で、電力消費者としてできることは何かを考えるもの。参加者はスタッフ7、講師4、一般16、全体で27名。
●短期目標 (2)	パワーシフトキャンペーンに参画することを通して、安さだけではなく、どういう社会をつくっていくのか、ビジョンを持った電力会社に関する情報発信を行い、そのような電力会社を選択する消費者である市民を増やします。			
→短期目標 を達成する ための実行 手段	地域・市民主導で、地域の特色に沿ったエネルギーの普及を促進し、また市民が自ら電力を選択できるようパワーシフトキャンペーンと連携し、ブース出展やSNSを通して普及啓発及び情報発信を行います。	パワーシフト宣言を150宣言集める（2015年度実績：135宣言）。	B	昨年に引き続き、中津川で開催されたTHE SOLAR BUDOKAN 2016にゼロのみくまチームと合同出展。2日間でパワーシフトの普及啓発に努め、宣言を162集めた。パワーシフト宣言は、全体で5,000宣言を突破している。（2017年2月4日時点）

### 【B : SEED PLAN 以外】

●想定外の成果・前進	
●想定外の障害・つまづいたこと	



## 活動報告

### 2016 年度イベント一覧

---

#### 2016 年 4 月

ひまごみ	11 日	福島復興！震災支援の軌跡を振り返る交流会（結イレブン Vol.28）
エコ貯金	19 日	講師派遣@中央大学 Fair Finance Guide Japan 啓発講義
エコ貯金	23・24 日	アースデイ東京 2016 参加
ひまごみ	23・24 日	アースデイ東京 2016 参加
エネまち	23・24 日	アースデイ東京 2016 参加
有志チーム	27 日	G7 ユース勉強会「洞爺湖から伊勢志摩へ～日本の若者がサミットとどう向き合っていくのか～」
ひまごみ	28～3 日	Roots to Seeds～福島・青森ツアー～

#### 2016 年 5 月

エコ貯金	10 日	フェア・ファイナンス・スクール「市民＝預金者が世界を変えるためにできること」
ひまごみ	11 日	福島復興！再生可能エネルギーで描く持続可能な未来～なじょすっぺふくしま in 東京（結イレブン Vol.29）
有志チーム	22 日	G7 ユースサミット参加@三重大学

#### 2016 年 6 月

ひまごみ	11 日	東日本大震災による県外・広域避難と避難解除の支援課題を考える交流会（結イレブン Vol.30）
チーム横断	25 日	第 1 回若者ソーシャルカフェ in 神奈川

#### 2016 年 7 月

エコ貯金	4 日	フェア・ファイナンス・スクール「私たちのお金の流れが戦争に使われないために、できること」
ひまごみ	9 日	「都市と地域の責任と連帯を考える」～青森・福島ツアーで見出した、未来ある選択とは？～
ひまごみ	10 日	ほんとの空の下で考える ほんとの幸の育て方(結イレブン Vol.31)

#### 2016 年 8 月

有志チーム	9 日	終戦記念日直前 原爆の日緊急セミナー「あなたの銀行と非人道兵器の関係を探る」
ひまごみ	11 日	東京五輪と福島復興を考える交流会（結イレブン Vol.32）
事務局	18 日	講師派遣@新宿 NPO ネットワーク協議会の「市民と NPO の交流サロン」
エコ貯金	29 日	フェア・ファイナンス・スクール「市民＝預金者が世界を変えるためにできること」

#### 2016 年 9 月

ひまごみ	5 日	緊急セミナー“核のゴミ（特定放射性廃棄物）”の後始末—決め方は私たちが決める！
エネまち	10・11 日	中津川 THE SOLAR BUDOKAN 2016 参加

ひまごみ	11日	福島復興の集い「土と平和と福島と」(結イレブン Vol.33)
エコ貯金	13日	Fair Finance セミナー「金融機関と気候変動リスク～欧米の最新動向を踏まえて～」
エコ貯金	29日	フェア・ファイナンス・スクール「市民＝預金者が世界を変えるためにできること」

#### 2016年10月

エコ貯金	1・2日	グローバルフェスタ 2016 参加
ひまごみ	11日	土と平和と福島と～先人の想い・未来世代の想い編～(結イレブン Vol.34)
エコ貯金	24日	フェア・ファイナンス・スクール「市民＝預金者が世界を変えるためにできること」

#### 2016年11月

ひまごみ	11日	福島の食とお酒を堪能、大交流会(結イレブン Vol.34)
事務局	13日	25周年記念! A SEED DAY 2016
エコ貯金	29日	フェア・ファイナンス・スクール「市民＝預金者が世界を変えるためにできること」

#### 2016年12月

エコ貯金	1日	講師派遣@明治学院大学 Fair Finance Guide Japan 啓発講義
エコ貯金	3日	講師派遣@中央労働金庫 社内研修
エコ貯金	4日	Fair Finance Guide Japan2 周年記念国際シンポジウム 世界に学ぶエシカル消費～スウェーデンの銀行を変えた消費者の力@東京
エコ貯金	5日	Fair Finance Guide Japan2 周年記念国際シンポジウム 世界に学ぶエシカル消費～スウェーデンの銀行を変えた消費者の力@京都
ひまごみ	11日	あなたにとってのふるさととは?(結イレブン Vol.36)

#### 2017年1月

ひまごみ	10日	新春パブコメセミナー 原発事故費用&廃炉費用、東京電力が責任を取らないまま国民負担でいいの??
ひまごみ	11日	大震災の風化を超えてニーズに迫る(結イレブン Vol.37)
事務局	22日	世代間格差を突き破る学生のための NGO/NPO リーダーシップ・トレーニング

#### 2017年2月

ひまごみ	11日	復興電源という前に考えることがあるんじゃないか?～福島の石炭・再エネ・ESG投資～(結イレブン Vol.38)
事務局	19日	買い物から社会を変えよう!～エシカルな買い物を実践する方法～
事務局	20日	持続可能な消費と生産(つくる責任 つかう責任)～市民と企業の情報交流～
エコ貯金	22日	フェア・ファイナンス・スクール「市民＝預金者が世界を変えるためにできること」

#### 2017年3月

チーム横断	4日	第2回若者ソーシャルカフェ in 神奈川
ひまごみ	11・12日	福島からのパワーシフト宣言!～震災7年目を共に歩む～ 日比谷公園ピースオンアース内にて(結イレブン Vol.39)

エコ貯金	17日 講師派遣@神奈川総合高校 Fair Finance Guide Japan 啓発講義
エネまち	17日 パリ協定発効で日本のエネルギー政策・産業はどう変わるか？
エコ貯金	25日 安心できる「食」について、私たちの預金から考える！（フェア・ファイナンスセミナー）

## 報道採録

ひまごみ	4月10日 解放出版社『部落解放』「加害-被害の関係をどう乗り越えるか 青森県六ヶ所村と東京の若者の交流を始めて」
ひまごみ	5月1日 デーリー東北新聞社「カラマツなどの苗木 50本を植樹」
ひまごみ	9月23日 AbemaTV 「もんじゅ」の廃炉について、西島がコメンテーターとして出演
エコ貯金	12月7日 NPO新聞『兵器産業等に投資する銀行に「ノー」を言う——銀行の通信簿「フェア・ファイナンス・ガイド」とは？』

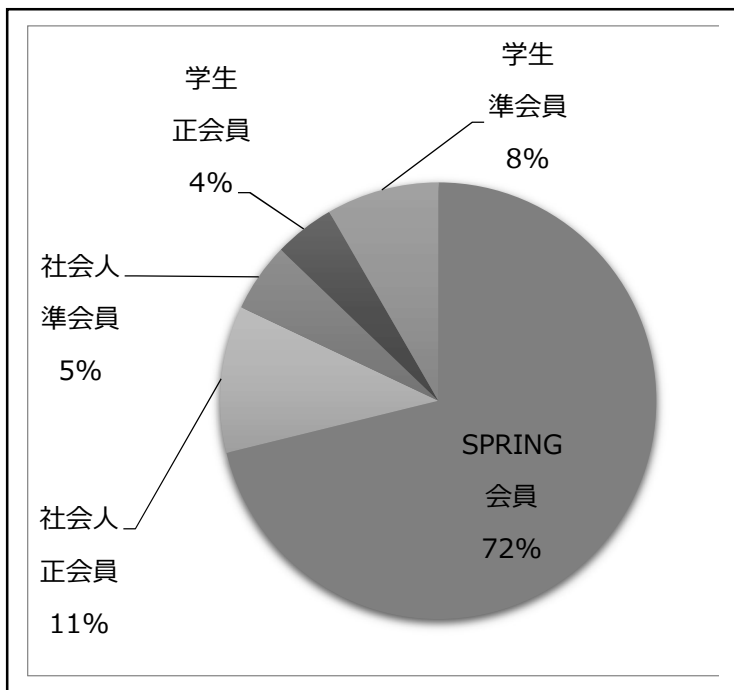
## 2016年度賛同案件一覧

賛同日	賛同案件
4月7日	森林火災企業への金融サービスでの緊急制裁措置を求めるレターへの団体賛同
5月15日	「ダイベストメント声明：化石燃料と原発に頼らない安全な自然エネルギー社会を作ろう！」への団体署名
5月20日	G7伊勢志摩サミットでのタックスヘイブン・租税回避問題に対する要請への賛同
6月26日	全国に被ばくを強い、環境を汚染する「8000ベクレル/kg以下の汚染度を全国の公共事業で利用」方針に反対への団体賛同
6月26日	FoE JAPAN 主催「Climate Justice Now-気候変動とたたかうアジアの人々の声」への協力
7月31日	350.org Japan 主催「金融界の世界貢献：気候変動とエネルギー問題の解決に向けた社会的責任投資行動」への協力
9月18日	生物多様性の宝庫、やんばるの森と住民の生活を守るために行動を！高江ヘリパット建設中止を！への賛同
10月9日	「3か国市民社会によるプロサバンナ事業に関する共同抗議声明・公開質問」への賛同
10月29日	「日印原子力協力協定」に反対する共同アピール署名
12月25日	アースデイ東京 2017 実行委員団体加盟
1月15日	特別講演会「NGOが語る！熱帯林のリアルな現状～ボルネオの森林破壊と村民の暮らし～」への協力
1月27日	「持続可能なスポーツイベントを実現する NGO/NPO 連絡会(SUSPON)」への加盟
2月16日	モザン CSO の JICA 公開書簡サポート署名
3月15日	SDGs ジャパンへのフレンズ会員加盟
3月17日	「インドネシア・西ジャワ州石炭火力への日本の公的融資拒否を求める要請書」への団体署名

## 2016 年度会員内訳

会員総数（2017年3月末現在）：156名

会員種別	人数(名)
SPRING 会員	111
社会人正会員	17
社会人準会員	8
学生正会員	7
学生準会員	13
合計	156



## 2016 年度役員一覧

### 理事

氏名	所属	担当	備考
田川道子	会社員	エコ貯金プロジェクト/Fair Finance Guide Japan	2016年11月より
土谷和之	会社員	共同代表 エコ貯金プロジェクト/Fair Finance Guide Japan	2016年7月末まで
富田 一	専門学校生	会計・コンプライアンス	
永井亮	団体職員	共同代表 組織基盤・人材育成担当	
西島香織	A SEED JAPAN	事務局長 ひまごみらいプロジェクト	
浜田恒太郎	会社員	エネルギーとまちづくりプロジェクト	
三本裕子	団体職員	組織基盤	2016年9月より
宮腰義仁	会社員	人事・コミュニティ形成	

### 監事

小林邦彦	大学教員
------	------